

【学校だより】

ほさかっこ

穂坂っ子

【学校教育目標】

心豊かで
かしこく
たくましい子ども

平成30年6月5日 NO.3 穂坂小学校長

これからの教育……「主体的・対話的で深い学びの実現」を目指して！

初夏の風も爽やかな季節となりました。4月～5月は、たくさんの学校行事や学年行事等があり、様々な教育活動を通して、子どもたちはまた一つたくましく成長したようです。特に子どもたちの勉強や遊びの様子は、いつも自信に満ちあふれ、いきいきとした表情でした。

過日の「児童引き渡し訓練」での、保護者の皆様方のご参加・ご協力に心より感謝申し上げます。お子様への教育や防災意識に強く関心を持っていただいている証と教職員一同意を強くいたしました。引き続き、防犯・防災意識を心がけ、安心・安全な学校を目指していきます。

さて、平成32年度から、新学習指導要領に基づく教育が始まります。新学習指導要領では、「生きる力を育むこと」を目指すに当たって、次の3点を挙げています。

- ①生きて働く「知識・技能の習得」
- ②未知の状況にも対応できる「思考力・判断・表現力の育成」
- ③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性の涵養」

これらの能力を培うため、必要な学習の形態として「アクティブラーニング（授業を受け身的な学習から活動的で能動的な学習）」への転換を挙げています。新学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学びの実現」（いわゆるアクティブラーニング）を目指しています。これらの「授業づくりの視点」は、本年度より先行実施として取り組んでいます。もちろん、これまでも小学校教育で重視してきた学習ですが、学習指導要領の改訂によって、より一層の充実を目指します。本校としても、これまで以上に子どもたちが、『勉強って楽しいな！』『またやってみたいな！』『次は〇〇に挑戦しよう！』と、興味・関心をもって生き生きと学習に取り組むことができるよう、校内研究を通して「主体的・対話的で深い学びの実現」に向けて研鑽していきます。



シリーズ②

続・褒め言葉の効用！

さりげない一言が、あたたかい！
使い分けたい言葉…
「どうして…！」「どうしたの？」

言葉というのは、ほんの少しの違いで、あとあと重大な結果をもたらします。「どうして」は活字で書くと質問の意味で使われますが、口にすると威圧的な言葉になります。つまり、理由、理屈を求める言葉となり、「どうして、味噌汁をこぼすの！」と言われると、人間は自動的に頭で分析し、考えた答えを出します。大切なのは味噌汁をこぼしてしまった状態に気づかせることです。ですから「どうしたの？」の方が、自分の不注意な点に気づくものです。「よそ見してた…」「急いで飲もうとしたから…」と、自らの行いに気づくはずで

PTA奉仕作業…ありがとうございました！

6月3日（日）、日曜日にもかかわらず、早朝より学校環境整備作業にご協力くださり、ありがとうございました。本校の児童も、5月29日には、全校で校舎周りの草取り（愛校作業）を行い、30日には、5、6年生児童がプール清掃を行いました。子どもたちも自分たちの学校をきれいに、大事に使おうと努力していますが、少ない人数ですと、どうしても手が回らないところがあるため、PTA行事としての奉仕作業は、本当にありがたく思っています。保護者の皆様方のご協力により、校舎周りがとてもきれいになりました。

昨日の学校集会では、保護者の皆様方の協力によって、学校は支えられていますということを話しました。

